

2007 年度

科目名 絵 画 ・ 工 芸 (含、理論)	対象学科・学年 教育 教福 1 回生	担当者 あんどう な な 安東 菜々
授業テーマ 基 礎 造 形 概 論 と そ の 技 法 を 修 得 す る		
授業の概要と目標 幼児や児童の造形的な成長・発達段階に見られる「表現」の特質や傾向を理解し、幼児や児童の造形的な創造活動の意義について探究する。本講座では、主として表現にある基本的な事柄を実技実習し、その技法を体得していく。特に、「線表現」「面表現」「色彩表現」「立体表現」「楽しい造形活動」「鑑賞」の各領域から、教育現場で行われている学習の実践を体験していく。		
評価方法 ・出席状況・制作活動の様子・提出作品・テスト・自己評価などによって総合的に評価する。		
テキスト 必要に応じてテキスト・資料を紹介する。	著者	出版社
参考書 適宜紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容		
回 基礎造形概論	実技実習の内容	備考(持参物)
1回 レタリングについて	明朝体・ゴシック体	鉛筆
2回 デッサンについて	鉛筆デッサン①	鉛筆 (HB, 2B, 4B, 6B)
3回 陰陽表現について	鉛筆デッサン②	鉛筆 (HB, 2B, 4B, 6B)
4回 線表現にある基本的な事柄	一本線描法	細書き水性ペン
5回 パスの持ち方、塗り方	線塗り、面塗り、混色	パス (16 色)
6回 パスの技法①	フロッタージュ	パス (16 色)
7回 パスの技法②	ステンシル	パス (16 色)
8回 パスの技法③	スクラッチ	パス (16 色)
9回 パスの技法④	パチック	パス、水彩絵の具一式
10回 水彩絵の具の色遊び	ドリッピング、ブローイング、デカコマニー	水彩絵の具一式
11回 水彩絵の具の基本的な事柄①	濃淡、透明、明暗	水彩絵の具一式
12回 水彩絵の具の基本的な事柄②	混色、重色	水彩絵の具一式
13回 水彩絵の具の技法①	にじみ、ぼかし	水彩絵の具一式
14回 水彩絵の具の技法②	ウォッシング、かすれ	水彩絵の具一式
15回 水彩絵の具の技法③	スタンプ、たんぽ、ストリングデザイン	水彩絵の具一式、その他
16回 貼り絵を使った技法	フォトモンタージュ	広告紙、はさみ、その他
17回 はさみ、のりの基本的な事柄	紙工作①	はさみ、カッターナイフ
18回 カッターナイフの基本的な事柄	紙工作②	はさみ、カッターナイフ
19回 粘土の基本的な事柄	紙粘土の立体①	雑巾
20回 粘土の種類と特徴	紙粘土の立体②	雑巾
21回 版画の色々①	マブリング、染め紙	古新聞、雑巾
22回 版画の色々②	凸版	ボールペン、古新聞
23回 版画の色々③	凹版	ぼろぎれ、古新聞
24回 技法・色彩に関する用語	色彩ワーク	水彩用具一式、筆記用具
25回 西洋美術史	西洋美術史ワーク	筆記用具
26回 日本美術史	日本美術史ワーク	筆記用具
27回 テスト、造形遊び	材料や場所を基にした造形活動	アルミ缶、軍手
28回 木工作の基本的な事柄①	木の切断	材料、軍手
29回 木工作の基本的な事柄②	木の接着、接合	軍手
30回 鑑賞の重要性	鑑賞ゲーム	作品持ち帰り袋
* 作品は個人に返却する。各個人の制作活動に必要な材料費を別途徴収する。 絵画・工芸 I で制作した作品類は、教育実習時に教材研究の有効な参考資料となるので、大切に保管のこと。		